

科目名	政治学特講		担当教員	小林 正嗣	
単位	2単位	講義区分		ナンバリング	ED4SLP406
期待される学修成果	教科教育 態度				
アクティブ・ラーニングの要素	該当なし				
実務経験					
実務経験を生かした授業内容					
到達目標及びテーマ	人類の歴史において、様々な思想がどのような認識に基づきいかなる「社会」を想像／創造してきたかを、学生たちが理解する。さらに、学生たちが、本講義を通じて「現代社会の認識」および「理想的社会の構想」のための知的源泉を作り上げる。				
授業の概要	人類は、現在に至るまで、様々な「現実的社会」を経験し、様々な「理想的社会」を構想してきた。それらの「社会」の多様性は、「人間」および「物事」に対する我々の認識の多様性に由来している。したがって、本講義では、人類の歴史において、様々な思想がどのような認識に基づきいかなる「社会」を想像／創造してきたかを理解することを目的とする。ここでは、最初に思想の源流となる古代ギリシャの思想を確認し、それ以降は、時代に沿って、近代の思想までを検討していく。				

授業計画	
第1回	ガイダンス（政治思想とは何か）
第2回	近代合理主義の思想
第3回	道徳哲学の思想
第4回	ドイツ啓蒙主義の思想
第5回	ロマン主義の思想
第6回	ドイツ観念論の思想
第7回	功利主義の思想
第8回	自由主義の思想
第9回	社会主義の思想
第10回	虚無主義の思想
第11回	現象学の思想
第12回	現代思想1 リベラリズム
第13回	現代思想2 リバタリアニズムとコミュニタリアニズム
第14回	現代思想3 平等論
第15回	全体のまとめ

事前学修	2時間	政治思想は次の時代へのつながりが重要になる。前回のレジュメを確認し、それがどのように引き継がれていくのかを推測しておくこと
事後学修	2時間	授業時には詳細なレジュメを配布するので、授業後に再読し、思想家の特徴を確認すること
フィードバックの方法	毎回の授業時にリアクションペーパーを提出してもらおう。次の回の冒頭にそれに対する回答をする	

成績評価方法	割合（％）	評価基準等
上記以外の試験・平常点評価	100%	平常授業第15回（実質的には期末のテストに相当する）にて、各思想家の特徴の理解度を問う
定期試験	0%	

補足事項	思想や哲学は、みなさんにとってはなじみの薄いものかもしれませんが。しかしながら、ある哲学者は、「思索とは詩作である」と述べています。難しい哲学書を紐解かなくても、哲学は詩という形で表現
------	--

されるのです。講義では、桜井和寿氏の「詩」を授業内容に重ねながら、哲学的に検討します。「ミスチルで哲学する」という不思議な体験ができると思います。

教科書

書名	著者	出版社	ISBN	備考
毎回レジュメを配布する	なし	なし	なし	なし

参考資料

--